

世代別・職業別タウンミーティング(要約)

テーマ：中心市街地の活性化について

平成28年11月22日（火曜日）

【市長】 皆さん、こんにちは。今日は松山市で一番乗降客の多い松山市駅と堀之内を結び、変化を遂げつつある花園町通りに面する花園町商店街の皆さんとのタウンミーティングということで、大変楽しみにしてまいりました。平日の夕方の開催で、皆様方にはいろいろとご予定もあったのではないかなと思いますけれども、お集まりいただきまして、本当にありがとうございます。このタウンミーティングの開催にあたりましては、花園町東通り商店街組合さん、花園町西通り商店街振興組合の役員の皆さんには大変お世話になりました。私が市長に就任させていただいたのは平成22年11月ですが、このタウンミーティングは就任当初から始めています。市役所で我々は皆さんが来られるのを待っているほうが楽ですが、果たしてそれでいいのでしょうか。我々のほうから各地区に出向いて行って皆さんの声を聞かせていただきましょうということで、まず地区別タウンミーティングを始めました。松山市は旧北条市、旧中島町をあわせて41地区に分かれています。市長の任期は1期4年、48カ月ですから、1カ月に1回のペースで当初回ろうと思っていましたが、おかげさまで好評になり、41地区を2年2カ月で回り切ることができました。せっかくなら二巡りしようということで、最初の1期目4年の中で二巡りさせていただきました。この松山市版タウンミーティングの特徴は「聞きっぱなしにしない、やりっぱなしにしない」です。できるだけこの場でお答えして帰りますが、国と関係する案件、県と関係する案件、財政的な問題があるものはいかげんな返事をして帰るわけにはいけませんので、いったん持ち帰らせていただいて1カ月をめでに必ず返事をする、「聞きっぱなしにしない、やりっぱなしにしない」というタウンミーティングを重ねてきました。どんな質問が出ても構わないという台本なしの1時間半のタウンミーティングですけれども、おかげさまで2期目に入らせていただいて、今までの地区別のタウンミーティングに加えて世代別のタウンミーティング、職業別のタウンミーティングを行っています。世代別でいいますと、松山市は大学生や専門学校生がいることが一つの強みですので、大学生や専門学校生との世代別のタウンミーティング、また子育て世代や高齢者の方々とのタウンミーティングもさせていただきました。職業別のタウンミーティングでは、農業分野の方々とのタウンミーティング、そして商店街の方々とのタウンミーティングとして、これまで大街道とロープウェー街の方々、銀天

街や市駅前の方々で行い、今回は花園町の皆さんとのタウンミーティングということで楽しみにしてきました。今日は皆さんからいろいろなご意見をいただければと思っています。90分緊張されていると疲れますので、ざっくばらんに前向きな意見交換ができればと思っています。どうぞよろしくをお願いします。

【司会】 それでは、本日のテーマ趣旨について、市長からご説明いたします。

【市長】 松山市のお正月の初めての公式行事で、総合コミュニティセンターで新年年賀交歓会をさせていただいていますが、今年はその中で8分間、私が中心市街地活性化ビジョンを述べさせていただきました。花園町さんは銀天街や大街道に近く、まさに中心商店街で、こうしていけたらという思いを述べさせていただきましたので、まずはこれを見ていただいて、これからの議論を深めさせていただけたらと思います。

『動画チャンネル まつやま中心市街地2050ビジョン』視聴

【市長】 大街道や銀天街にはアーケードがありますが、花園町さんはひさしができて景観も統一されましたし、これからおしゃれな舗装になり、憩いの空間もできますし、自転車と歩行者を分けて歩きやすくなります。自転車置き場も整備していきますので、自転車も置きやすくなります。これまで41地区のタウンミーティングを重ねていますが、私の住んでいる家もバス停や電車の停留所まで少し距離があります。そう考えると花園町さんは実にうらやましいです。商店も多いですし、人も多いです。今日はまず2050ビジョンを見ていただきましたけれども、行政だけではやることに限りがあります。行政と地元の皆さん、行政と民間の皆さんが手を携えることによって、1+1が2ではなくて3になり4になり5になることがあると思いますので、今日は「こういうことをしたいんだけど、もっと行政の力が欲しい」とか「行政と協力して内容を充実させたい」とかそういったお話なども伺いすることができればと思っています。どうぞよろしくをお願いします。

【男性】 今回の整備に関しましては、花園町の特に東通りに技術的な支援や財政的な支援、そのほかさまざまな支援をいただいたことに全地権者、テナントと本当に感謝していますのでお礼申し上げます。街路整備に関しては、約3年前から町内会、役員会により検討委員会を設置して、役員が

本当に熱意を持って、ほぼ毎週木曜日の20時から深夜になるまで長時間検討会を開き、今現在は役員みんなで頑張っています。花園町の街路整備の完了時期については、担当職員からはえひめ国体までの完了は厳しそうという話を聞いていますが、可能であれば街路整備をえひめ国体までに完了するようお願いしたいと、地権者、テナント、お客様の要望として出ています。これは、電柱の撤去、1車線化まですべて完了するよう、できればペースを上げてほしいのが願いです。この3年間は、街路整備が進むように、東通りの役員さんや地権者が非常に熱意を持って、汗をかいて、花園町をよくしようという思いで進めてきました。経過を要点だけ言わせてもらいますと、平成25年に、総会にてアーケードの撤去からファサード整備、街路整備の説明を町内の人にしました。平成25年5月から全地権者に対してアーケード撤去に関するアンケートを2回実施して、全員の了解をとりアーケード撤去工事を進めることになりました。その後、競争見積もりを実施し、業者を選定しています。平成25年12月からは、アーケード上の約30台以上ある室外機について何度も役員の方が写真を撮って、10回以上検討会で撤去方法や移設の方法を検討し、移設を完了しました。そして、翌26年1月からアーケードの撤去を開始しました。ここでは、看板、電線、電気の回線等、すべてを撤去し、平成26年4月に完了しました。平成26年7月に、花園町東通り商店街組合を設立しました。それまでは町内会で行っていましたが、少しずつ仕組みが確立してきて、これによりファサード整備に向けた準備が開始されたという状況です。平成27年3月に、花園町東通りファサード整備に関しては29名の地権者がいますが、役員一同ひとりも欠けることなく全員が賛成して進めたいということで、全地権者の署名、同意を取っています。このときは、遠くは新宿の地権者から新居浜や久万高原町にも足を運んで、できるだけ丁寧に説明して、一任しますということで快諾を得ています。その後、平成27年8月に花園町東通り商店街組合の第1回総会を開きました。ここでは、ファサード整備の事業計画、ガイドライン、協定書の正式決定、電柱類の地中化工事についての議案の承認案件がすべて承諾されました。平成27年9月からファサード整備の基本設計を行い、平成28年1月に工事業者の競争入札を実施し、平成28年3月よりファサード整備工事を開始しました。約6カ月かかりましたが9月に工事を完了して、3年前に市と役割分担した花園町商店街で実施すべき工事は一応完了しました。しかし、これも松山市の所管課、担当職員の本当に熱い日々の協力があって進められたと全員感謝しています。今後は歩道の舗装工事に入りますが、工期が長引くと、商店街の各店舗やテナントに経営的な支障が出るとテナントから

も要望が出ています。例えば、連休中に店の前で工事があったので、お客が入らなかったということもありますので、できるだけ工期を短縮してほしいという強い要望があります。予算等厳しい状況もあることは説明を聞いて理解していますが、できる限り電柱の撤去、1車線化の完成をえひめ国体までにお願ひしたいというのが要望です。国体のときに非常に多くの方が市駅を中心として移動され、おそらく数万人規模になると思いますが、そのときに、花園町の各地権者もできるだけよい状態で迎えたいという思いもあります。

【市長】 私から思いを述べさせていただいて、具体的なスケジュールは担当課長から説明します。まず、皆様方にお礼を申し上げたいと思います。最初に花園町の空間の再編を打ち出したときのことをよく覚えていますが、けれども、まちづくりは30年後50年後のことを見越してやっていきます。世代的にいうと、子どもや孫の世代を思い浮かべながら、よりよい松山を受け継いでいくのをイメージしながらやっていきます。明日のこと1年先のことではない先のことをイメージしてやりますから、まちづくりはわかりにくいという点があります。皆さん最初は「はて、どんなになるのかな」と不安だったと思います。職員にはできるだけ花園町に足を運んで、できるだけ皆さんと話をするとおっしゃっていましたが、皆さんにもさまざまなお協力をいただいて今に至ります。今振り返って、色んな局面のことが思い浮かびますし、色んな報告を受けていましたので、これまでの皆さんの動きに心から感謝を申し上げたいと思います。私もできるだけ早く整備を完成させたいところですが、これは道路建設課長からお願いします。

【道路建設課長】 花園町通りの工事の整備を担当しています道路建設課長の浮田と申します。まず初めに、ファサード整備や平成26年から行っている電線地中化のための工事では、速やかなご対応と多大なご理解ご協力をいただき本当にありがとうございます。花園町通りの工事のスケジュールについては、現在、電線類を地中化するために必要な管を地中に埋める埋設工事が東西両側全区間完了しています。これからですが、東西両通りとも千舟町通側から北に向かって約80メートル区間の歩道の整備工事を発注していて、間もなく本格的に現場作業に入ることになっています。ちょうど金太郎ホルモンさんのところの交差点あたりまでが80メートルですが、全体が250メートルありますので、その残りの約170メートル区間は、東西両通りとも年明けの2月頃に工事を発注したいと考えています。さらに、全線の車道と自転車道の工事は、来年度の予算を活用して6月頃には発注したいと思っています。今、ご質問がありましたように、

商店街の方々の切実な思いを担当も聞いていますので、何とか国体までにということで職員も頑張っています。

【市長】 具体的にありましたら、遠慮なく聞いていただいたらと思います。まず、国体はいつ始まるのかというと、来年の9月30日土曜日からです。世界で一番大きなスポーツの祭典がオリンピックで、日本で一番大きなスポーツの祭典が国体です。国体をした後に、全国の障がい者スポーツ大会が行われることとなります。ですので、我々としては9月30日までに完成をさせたいという思いでやっています。照明の工事は、来年3月を目指して工事を進めています。歩道は来年8月を目指してやっています。車道と自転車道は来年9月を目指して工事を進めています。電線や軌道管理者による電柱の撤去作業は来年9月末までに完了するよう進めています。伊予鉄道さんやNTTさん、四国電力さんの関係機関とも歩調を合わせながらになりますが、国の社会資本整備総合交付金を活用して整備を進めています。国自体は1千兆円を超える借金を抱えているとよく聞かれると思いますが、国自体がしんどい中で、地方に配分されてくるお金が増えるとはとても考えにくいですよ。今そういう中で各地方自治体はやりくりしながらやっていますが、この交付金の配分状況によっては、必要な事業費が確保できなくなって、工事の進捗の遅れが生じる可能性は否定できないところですが、できるだけ我々としては国体までの完了を目指してやっていきたいと思っておりますので、ご理解いただいたらと思います。

【男性】 このような形で花園町がリニューアルして、両サイドの商店街がこれぐらい意識できたことはないです。西、東ということではなく、花園町としてどうするかという目線で我々は見ようということで、一度、理事の方たちで集まりました。その中で、今年のイルミネーションに関しては、花園町を素通りまではいかないにしても、メイン会場が二之丸史跡庭園になるとのことで、今の進捗状況からすればやむを得ないと思っています。これはうわさですが、行政は今かなり厳しくて、来年はイルミネーションがあるかどうか分からないということを聞いています。再生化した花園町を見てもらうために、イルミネーションというインパクトの強いイベントで、できるだけ市民の方に足を運んでもらうことが大事だと思います。それから市駅、メインアクセスである花園町、堀之内、この流れを自分たちの足でしっかり把握することが非常に大事で、逆にいえばチャンスです。それが来年です。ぜひやってほしいのは、市としてもいろいろあるでしょうが、その中で優先順位を1位にして、ぜひイルミネーションを来年はそういう意図で盛大にやってほしいというのが切なお願いです。

【市長】 花園町さんからはできるだけ国体に間に合わせてほしいというご意見を聞いていますので、今回は例年のような花園町のイルミネーションは、工事の関係もあって二之丸史跡庭園にウエイトが置かれる形になります。私としてはできたら花園町さんが一体になって受け皿をつくっていただくと非常にありがたいなと思います。ロープウェー街は、昔、古いアーケードがありました、前市長の中村時広さんのときにアーケードを撤去して、今は本当に素敵な街並みになっています。あのとき、ロープウェーの商店街は3つに分かれていましたが、1つにまとまってもらいました。11月には門前市をされています。この間、ロープウェー街の方々から、「事務所を1つにしようという動きもあるんです」と聞きました。一般的なお話をさせていただきますが、市役所としてこういうことをやりたいのですが、こちらの組合さんどうですかと言って「いいよ」と言われたけれども、こちらの組合さんは「いや、これは困るな」と言われたら、なかなか動きづらいわけです。これまでの経緯もあると思いますが、まとまっていただくと話が進みやすいと思っています。全国的にそうですが、財政面で引き締めていけないといけないと思っていますので、お約束はできませんけれども、できれば私の気持ちとしてはきれいになった花園町でイルミネーションを見ていただいて、皆さんにたくさん歩いてもらって、たくさん滞在していただいたらと思っています。

【男性】 毎週木曜日に東側の方と集まってミーティングをしていますが、街路整備完了後は花園商店街が主体となって、街路整備完了記念イベントを実施したいと思っています。全国のモデルケース事業としてこれからさらに発展していくために必要であると考えていますので、可能な限りサポートをお願いします。サービス業、飲食店、物産販売店等によるオープンテラスの実施、歩道拡大によるメリットを最大限に生かしたデンタルフェスタ等のイベント、パステルアート、フラワーアレンジメント、開発過程のビフォー・アフターを時系列で写真を展示するなど、そのほか花園町らしい企画、次の世代に向けての企画を実施していきたいということでまとまりました。可能な限りのご協力をよろしくお願いします。

【道路建設課長】 現時点では工事の早期完成を優先に目指していて、完成したときのイベントは考えていませんが、これだけの道路ですので、松山市としても情報発信の絶好の機会と捉えて、可能な限り地元の方のご意向やご意見等を取り入れて、道路占用に関しての道路法の法令等を照らし合わせて、可能な範囲で積極的に検討していきたいと考えています。

【市長】 私としてもせっかくきれいになった花園町を知ってほしいと思

いますので、皆さんと手を取り合っただけでできたらなと思っています。この間、テレビ愛媛さんが「いーよ！」という番組で花園町を取り上げていて見せていただきましたが、写真って強いですね。古い時代の写真は結構皆さん好きなので、花園町の古い写真をお持ちの方がいらっしゃったら、それを見てもらったらきっと懐かしくて来てもらえらと思いますし、そのようなことができたらいいなと思っています。ここで、花園町がどうなるのか述べさせていただきます。歩道の照明は、花園町という名前にふさわしい、優しい花をイメージした、通りに賑やかさを表現できるデザインとします。灯りのところから支柱にかけて植物的な柔らかい曲線として、素材の質感を感じるものとし、通りの名称を表示します。車道の照明は電線類を地中化しました。また、市内の電車の電線や警察信号も備えないといけないので、通常の照明灯よりかなり大きな強度を必要としますので、機能的でできる限りシンプルなデザインになります。今、歩道と車道の照明を工場で作っているところです。現地では設置する場所を試掘りしていて、今後、照明用の配管工事を進めていきます。あと、自然石を利用した石畳の歩道や芝生広場やベンチ、イベント利用を想定した電気設備や給排水設備などを設けていきます。

【男性】 先ほど役員からイベント等の話があったので、その情報発信に関する内容をお話させていただけたらと思います。中心市街地の商店街のホームページやマップなどがつくられています。私の個人的な意見としては見にくいものが多いので、あまり情報発信ができていないのではないかと思います。そこで、検索しやすいマップやグーグルのように検索できるものをつくれればどうかなと思います。まずは大きな松山市内の商店街のサイトをつくって、その内容は各商店街が管理をしながら色んなことを追加していき、情報を増やしていくようにすればいいかなと思います。食べ物のマップや美容室など、商店街のお店の細かい情報も載せていけたらなと思っています。内容としては、例えば道後商店街や城山公園、花園町、銀天街、大街道、ロープウェー街の内容を協働してやっていけたらなと思います。あとは、例えば観光客が来られたときに見やすいQRコードを設置したり、今フリーWi-Fiがあると思いますが、まだ整備自体がある程度なので、もっと広域にできればと思います。また、全国初となるような観光・中心商店街・商業施設等の地域間の広域全体の無線LANをつくっていただけたらと思います。よろしくお願いします。

【地域経済課長】 ご質問ありがとうございます。地域経済課でございます。実は、商店街の活性化に取り組んでいる株式会社まちづくり松山のホ

ームページの中に、大街道や銀天街やまつちかタウン、道後商店街のご質問のあった機能を持っているマップがあります。そういった中に組み込んでもらうようなことがあれば、松山市全体の商店街が一目でわかるようになると思います。こういった質問をお伺いしていましたので、まちづくり松山さんにはお伝えしていますので、一度連絡をとっていただければ、ある程度のところは解決するのかなと考えています。

【市長】 昔は、道後は道後、中心商店街は中心商店街、三津は三津という感じでしたが、今は連携していただけるようになったのが非常にありがたいことです。一遍上人は道後の生まれで踊り念仏をした方ですが、道後温泉本館の上の太鼓をたたき振鷺閣をやぐらに見立ててぐるりとダンスをしようと、あそこを盆踊りの聖地にしようということで、道後の方々がBONダンスというのを考えられました。それは道後だけではなくて中心商店街の方や三津浜の方と一緒にしたというのが大きいことです。理想ですが、例えば松山に旅行に行って何を食べようとなったとき、どこの店に行こう、どうやって時間を過ごそうとしたときに、一目でわかるようなインターネットのホームページのような情報発信できるものがあって、地図がいい方もいれば、スマートフォンなどで見られるのがいい方もいると思いますが、一目見たら松山の楽しみ方がわかるものができるのと、なおいいと思います。おかげさまで松山を訪れる観光客は560万人、570万人、580万人と増やすことができましたが、これをもっと増やしていくために、皆さん方と手を携えながら魅力アップできればと思いますので、よろしくをお願いします。

【男性】 花園町のシンボルになっているイチョウ並木ですが、数年前から樹勢が弱っているように感じられます。戦後復興のシンボルとして、また花園町の顔として我々も大切にしていきたいと思っておりますけれども、道路関係のご担当のところは所管だと思っておりますが、樹木の専門家がいる公園緑地課とかに街路樹のメンテナンスをお願いすることはできないでしょうか。

【道路建設課長】 花園町通りのイチョウの管理は都市整備部の道路管理課がやっています。具体的には専門的な知識のある造園業者さんに業務委託を行って、年間契約でもらっています。月に1回程度、定期パトロールを行って、通行に支障になっている枝はないか、枯れている枝はないかなど循環点検するようにしています。また、10月と2月頃の年2回に分けてイチョウの夏季剪定と冬季剪定をやっています。イチョウの樹勢が弱っているというご意見についてですが、平成26年7月に西側のイチョ

ウの幹が少し腐食して空洞化しているということで撤去させていただいた経緯があると思いますが、そのときに樹木医の先生にイチョウを全部診ていただきました。そのときに先生が言われていたのが、平和通りのイチョウは広い中央分離帯の中に植えています、花園町は少し狭いスペースに植えているので、平和通りに比べると少し生育環境に差があると言われていました。けれども、撤去した木以外は幹に腐食があるなどの問題は特にはないそうです。専門家がいる市でメンテナンスができないかということですが、残念ながら市の職員には樹木専門の技術者はいないので、引き続き樹木に関する専門的な知識を有する業者さんに年間契約をさせていただいて、適切に管理していきたいと考えています。また、少しでも変状が確認されれば樹木医さんに相談することもできますので、依頼したいと思っています。

【市長】 松山市には花園町通り、平和通り、JR松山駅前的大手町通りの3つの大きな通りがありますが、戦後復興だからあんなに大きな道で、車が多くなるから幅の広い道にしたと聞いています。平和通りも花園町通りもイチョウ並木があります。花園町通りにイチョウ並木や緑地帯がなかったら、これからしようとしている歩道と自転車道を分ける整備もこうなっていたかわからないですよ。私はイチョウ並木を大事にしたいと思いますので、イチョウの木は残します。今後の花園町通りの整備では、イチョウの木の根元をできるだけ呼吸がしやすく水が入りやすいように、アスファルトを撤去して地表を覆うような植物を植えることを計画しています。桜を長持ちさせる方法で湯築城は有名になりましたけれども、できるだけ根元には入らないほうがいいそうです。人間が入れば入るほど足元を固めてしまい、根元が固まると呼吸もしにくくなり、水も入りにくくなるので、根元のアスファルトを撤去して、地表を覆うような植物を植えるというのは、ひとつ貢献をしてくれるのではないかなと思っています。以前、強剪定といってイチョウを強めに剪定したことがありました。花園町のイチョウのことを考えて、この時期に強めに剪定したほうがいいということでした。やったそうですけれども、いきなりしてしまうと皆さんが驚きますので、今後は皆さんへの説明に努めながらやっていきたいと思っています。

【男性】 戦後復興でイチョウを植えたのが、平和通りと勝山通り、花園町と聞いています。勝山町のイチョウの本数は減っていますが、イチョウといえば花園町や平和通りで、この町の特色をそのまま生かしてもらいたいと思っています。それで、市長が強剪定と言っていました。10年に1度の強剪定をしたことについて、以前にタウンミーティングで質問があったと思います。そのときにちょっとやりすぎたと言ったと野志市長から言ってい

るのを見ました。私が花園町に来たのは平成22年で、それから剪定をずっと見ていますが、剪定していた業者は、やり方として幹吹き、枝吹きを先にして、その後に枯れてから2月に剪定をしていました。私もイチョウの木について勉強するために本を買いました。本を見ますと、剪定の時期は11月から2月までにして、それ以外は切ると弱ってしまうと書いています。イチョウはすごく元気な木で、上に伸びるのは抜群に強く、何の木よりも一番強いのがイチョウだそうです。それを花園町の社会実験で植込みをのけ、そのときに根切りしました。1つのブロックから根切りした量は軽四に3台分で、一度に根切りをしました。そして、病気を発生する恐れがあるということで、根切りをしたところに薬品を塗り処置をしました。植込みがあったところが広がったので、水を吸うところも広がったわけですが、それが社会実験をするためにそこをのけてしまいました。ドラム缶を置いた状態で、水の行くところが少ないから、根の位置の寸法を測り、イチョウ学会へ聞いてみました。そうしたら根の寸法が小さすぎるために水の行くところしか根は張りませんから、縦には張るけれども横には張らないでしょうということでした。それで道路整備のことで桃枝課長さんが回答しましたが、これで大丈夫だと、そして道路は水を吸い込むための舗装にするということを言いました。今度も最終的には舗装は水を吸い込む舗装にしてくれたということを聞きました。だから水も吸い込んでいくようになると解釈しています。樹木医が、イチョウの木に元気から老朽化しているまでの4段階の番号を松山市の依頼で付けていたのを見ましたが、4になっているのが農協の前の木1本と、うちの前の1本と、これとこれが4番だということを聞きました。だから、継続して診てもらえる人がいれば、ずっと保存ができるのではないかと思います。

【市長】 イチョウについては皆さんの思い入れがあるというのはよくわかります。我々にとってもイチョウ並木は大事ですから、皆さんを心配させることがないようにしていきたいと思います。先ほど、排水性のことがありましたが、車道は雨のときの車両の走行安定性の向上や水はねを抑制して、交通騒音の低減効果が期待される排水性の舗装にします。三番町と花園町通りの交差点は、走行性、耐久性、騒音などを考えて、半たわみ舗装といって、暖かい色合いの自然石を洗い出すことで自然な質感を出して、東西をつなぐ場所として演出します。自転車道は、歩道との一体感を創出するため洗い出しのコンクリート舗装にします。歩道、車両乗り入れ部、荷捌きスペースはすべて自然石の舗装にして、使用する石材は、松山市駅から堀之内へつながる通りとして松山城をイメージさせて、耐久性にも優れる御影石としています。これからイチョウ並木の葉っぱが落ちるころに

なると掃除がはじまりますが、イチョウの葉っぱが線路に行くと滑ってしまうので、伊予鉄道さんからすると掃除をしなければいけません。平和通りと花園町通りはイチョウの葉っぱを掃除する必要があって、伊予鉄道さんだけでは大変だということで、シルバー人材センターにお願いしています。もともと平和通りのイチョウの葉っぱを片付ける人たちがいましたが、まずは花園町通りで朝イチョウをきれいにさせていただいて、その後、平和通りに行ってイチョウを片付けてもらうことにしています。

【女性】 西通りの花園町のアーケードの中にポットのような花壇がありますが、植える人は入札制度になっているのですか。

【道路建設課長】 おそらく管轄は公園緑地課で、入札で決まっていると思います。

【女性】 その年によって、植木のしっかりした苗木を植えていただけるときもあるし、植えて1週間すると枯れるときもあります。せっかく植えてくれるなら長持ちする頑丈な植木をお願いします。

【道路建設課長】 わかりました。また現地を見させていただきます。

【女性】 花園町にはお花屋さんがあるので、植えていただいたら管理もしっかりしていただけたらと思います。どういうシステムになっているのかなと思ってお聞きしています。

【道路建設課長】 管理のことは重要ですので、それも含めて持ち帰って検討させていただきます。

【市長】 花園町さんは、まちの名前に花園と名前が付いていますから、お殿様がいた時代はここでつくった花をお城に献上していたのでしょうか。花のまちづくりをしてもらえないかという思いを持っていますが、花園町さんの花のまちづくりで何かお話しできることはありますか。

【道路建設課長】 子規の生誕の碑があるところでは、正岡子規さんの俳句に出てくるようなゆかりの植物を植えるとか、地元の方が植えていただけたら花壇もつくるように考えています。ワークショップの中でもいい意見が出ていますけれども、地元の方と一体となって植樹していければと考えています。

【市長】 ワークショップでどんなことをされているのか教えていただけないでしょうか。

【女性】 お嫁さんは、イベントがあったときにフラワーアレンジメントやリースをしたりしました。

【市長】 花園町の皆さんで花を育てるというときには、「店のことや自分の仕事があるからそれはできんよ」ということになるのでしょうか。

【女性】 花屋ですが、すぐ枯れるから水でもやろうかなと思いますが、よそが入札してやっていますし、よそまで行ってはしないですが自分のところの前はできます。

【市長】 花園町の皆さんで花を植えていこうという話がありますか。

【女性】 ないです。植えることは遠くの花屋さんがやってくれますが、水をやらないから、すぐだめになります。

【市長】 松山市内に公園は300カ所くらいあったと思います。公園は、公園管理協力会といって地元で公園を管理する組織をつくっていただいて、例えば公園の電気が切れたとか、トイレの調子が悪くなったとか、松山市で全部管理をしようとするのと遅れてしまうので、地元の方に管理をしていただく手法もあります。例えば街路灯もそうですが、田舎のほうに行くと、あまり明かりを照らすと稲の生育にも影響を及ぼすそうで、街灯も地域の方々に管理をしていただいたり、どこに設置をするか決めていただいたりして、地元でできることは地元でということもあります。ほかの方で花のことをご存知でしたらお願いします。

【男性】 私は生まれてからずっと花園で育って、花園町が活発な30年代、40年代は、各地権者がその家の前の花壇はそれぞれが花を植えたり、水やりやイチョウの葉っぱ拾いをして、日々の生活の中で慣習的に各地権者が自分の家の前はちゃんとメンテナンスをしていた時代がありました。今も母はイチョウの掃除をしたり、ほとんどの地権者はそういったことをされていると思います。整備後は花壇ができるということで、検討会の中でも各役員さんのほうから地元で管理ができるスペースが必要ではないかとか、せつかく整備してにぎわい空間ができるので、フォトコンテストのような民間活力も含めて色んな方に参加していただくといった意見もたくさん出ています。

【市長】 ありがとうございます。花園町さんは歴史的な経緯もありますので、花のまちづくりができたらすごくいいと思います。訪れる方も気持ちがいいと思いますし、気持ちがいいと長く滞在しますし、また行きたいと思います。花園町さんにとってもいいことだと思います。それから、花園町は正岡子規さんの生誕地がありますので、正岡子規さんにちなんだ花園町らしい宝を生かした「たからみがき」のまちづくりができるのではないかと思います。

【男性】 花園町通り道路空間再配分整備事業のワークショップが前年度3回、今年度1回の計4回行われました。私も出席させていただいて、最終案の花園通りのコンセプトを見て、この「しきのみち」花園通り～賑わ

いと交流を育む、花と緑の広場どおり～は、非常に細部まですばらしいプランニングだと皆さん感じたと思います。次の世代、将来に向けて夢の持てるコンセプトだと思いますので、最後の第4回ワークショップの後に東通りの役員会で説明させていただきました。市の担当者にも来ていただいて説明し、このときに役員から出た意見が何点かあります。この「しきのみち」の構想をさらにクオリティを向上させて、よくなるように進めてほしいと思います。可能であれば、当初から関わっている専門家の南雲さんや羽藤さんが継続して関われる会議をぜひ継続事業としてお願いしたいです。2点目は、この花園町商店街が東西共同で主体性や熱意を持って進めることが一番重要であるということです。ただ、その中で行政のサポートも重要で切り離せないと考えていますので、官民協働で継続事業としてできたらと思います。3点目は、花園町の子規誕生の地からスタートして句碑を10カ所程度建て、西通りと東通りを回遊し吟行ができるまちになれば、花園町商店街の特色としてさらに文化性が高まるのではないかと思います。4点目は、花園町のイチョウ並木に子規の俳句の札をかけて楽しみを増やしていったらと思います。子どもたちから募集した俳句をイチョウや街路灯に飾ったり、可能であれば道後にあるようなポスティングをしていったらと思います。子規のボランティア団体の方がワークショップに見えられていて、お話を聞くと非常に積極的に活動をされていました。こういった団体と連携したイベントを実施して、番町地区、番町小学校、旅行代理店も各社ありますので、そういったところとのタイアップもしていったらと思います。それから、花園町の街路整備終了後に松山まつりのコースとして、例えば、大街道→銀天街→花園町→城山公園の経路で実施を検討することはできないでしょうか。堀之内公園に演舞場を仮設して、多くの観客が見て参加できれば、各商店街が連携した最高のイベントになるのではないかと思います。そのほか色んな意見がありましたが、こういった企画がさらに進むためには、仕組みづくりが大切だという意見がたくさん出ました。まずは花園町連携会議という仮称ですが、テナントの若いオーナーさんを主体として、花園町の活性化、分析やニーズ把握をしっかりと実施した上で、次の世代を考えた夢のある目標の持てるような花園町、中央商店街、全体を考えたまちづくりができたらと思います。将来的には東通りと西通りの商店街の一本化、統合に向けての協議を段階的に、できれば期限も決めて良好な関係で進めていったらというような状況です。最後のワークショップでは、検討の平面図が示されました。これは東西の広場や子規の庭のデザイン、ファニーチャー、植木、照明などで、植栽計画案は緑のゲートから緑の中心へと移り変わるような、本当に夢のあるプランニ

ングでした。このプランをしっかりとみんなで共有して進めるには、地元の花園町がより積極的に行政と協働して、民間企業との連携や民間活力も含めて、商店街の機能強化等、外部とのチームワーク、連携推進が重要ではないかという意見も出ています。組合としての目的は地域貢献だと考えています。地域密着型で地域貢献をどれだけしているかということで、できれば全国のモデルケースになるような松山の中心市街地活性につながる一翼を花園町が担えたらと思っています。49軒の地権者がいますが、同じ思いで熱意を持って取り組んでいますので、今後についての計画があればよろしくをお願いします。

【市長】 ありがとうございます。ワークショップで出たご意見も教えていただきました。どなたかまだ発言されていない方、せっかくなので女性の意見も聞きたいなと思いましたが、いかがでしょうか。

【女性】 このたびはファサードを含め、いい感じに仕上がっていて、特に私は女性のお客様を対象にしていますので、街並みが非常にきれいになったり、お花のまちになったり、「しきのみち」はすばらしくていいと思います。私も2年ほど前まで全く俳句に縁がない生活をしていましたが、あるきっかけで俳句を始めて、「松山ってすごいんだな」と感じています。松山には正岡子規以外にも有名な方がいるので、子規だけでなく子規に関連して広げながら、松山の方が全員正岡子規の弟子になれば、ますます大きくなるのではないかと考えます。末広町やはなみずき通りと33号線を結ぶあたりなど、ほかの街並みを歩いていると句が飾ってあったりしますが、子規の生誕の地が花園町西通りの前であることを知らない方が非常に多くてとても残念です。私どもの店舗のちょうど真向かいにあり、よくお客様に紹介します。もう少しわかるようになればいいかなという意見も多々お客様から出ていますので、今回のこういうことを活用して、花園町にはすばらしいところがあるので、皆さんを巻き込みながら、若い小学生や中学生の力を借りながら、30年後、俳句であふれるようなまちを目指していければいいかなと思います。

【市長】 時間も迫ってきましたので、締めの話になりますけれども、本当に花園町には宝がいっぱいあります。松山城が近くなければ話は別だと思いますし、松山市駅が傍になればまた話は別だと思いますし、イチョウ並木がなければまた話は別だったと思いますし、路面電車が走ってなかったら話は別だったと思いますし、やはり色々な宝がありますね。子規さんの生誕地があったのも宝だと思いますし、番町小学校は子規さんの出身校というのも大きいですよね。ここは子規さんにゆかりのある場所ですから、子規もあれば四季もあるので、例えば、子規さんの出身校である番町

小学校の子どもたちにかわいらしい字で春夏秋冬の句を書いてもらって展示をするというやり方もあると思います。何でもメリットとデメリットがありますけれども、固定してしまうとお金もかかるし、切り替えしにくいところがありますが、これを皆さんがどういうふうにしていきたいのかです。ロープウェー街は景観整備が先に進んだところですが、砥部焼の風鈴を商店街で飾ってくださったり、ロープウェー街の方々にイルミネーションを飾ってくださる動きがあります。本当に宝がいっぱいありますので、やれることはいっぱいあると思います。地元の方々にまともまわっていただいて、我々と一緒に動いていただくとやれることも多々あるのではないかなと思いますので、どうぞよろしくお願いします。大学関係の方々と連携も大きかったと思います。南雲先生や羽藤先生の話も出ていましたけれども、羽藤先生は地元ご出身で、国土交通省に非常に強いルートを持った日本でも権威のような方ですから、そのような方と連携できたのは非常に大きかったと思います。私も国土交通省のまちづくりの会の会長をさせていただいていますけれども、全国のよいまちづくりの表彰式が毎年あるので見させていただきますが、この花園町の事業は全国から見てもいい事業だと思います。動かないで家でテレビを見ているほうが一番楽だと思いますけれども、動くとやっぱりいいことも多々あると思いますので、一緒になって動いていけたらと思います。今日は時間の関係で、恥ずかしくて手を挙げて言うまではできなかった方もいらっしゃるかもしれませんが、松山市は市長への直接のメール制度「わがまちメール」もありますので、遠慮なく言っていただければと思います。今日は時間の関係でご紹介できませんでしたが、松山市は商店街を大事にしたいので、ハード面やソフト面でのサポートをしています。お金の枠もありますが、遠慮なく市役所の地域経済課に相談していただいたらと思います。最後に、市役所は市・役・所という言葉に3分割されますけれども、市役所は市民の皆さんの役に立つところじゃなきゃいけないと思っています。「どうせ市役所に言うたって変わらん」ではなくて、言っていただいたら「こういうことはできなくても、こういうことはできますよ」とか情報提供することもできますので、遠慮なく言っていただいたらと思います。とにかく花園町をこれからもっと皆さんと一緒にいいまちに、将来の世代によい形で残していけるまちにしていきたいと思いますので、引き続きご理解とご協力をよろしくお願いします。今日はありがとうございました。